

令和7年度 松虫中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	68	52	46	7.7	11.0
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
理科	521
学校	521
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

**令和7年度 松虫中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

調査結果から

★全国学力・学習状況調査(3年生)

<国語>

【成果と課題】

平均正答率は大阪府に並んだが・全国平均は下回る結果となった。しかし「学習指導要領の内容」の一項目「思考力、判断力、表現力等」をみると、B「書くこと」、C「読むこと」においては大阪府平均を2.7ポイント、3ポイントとそれぞれ上回り、これまでの授業における取り組みやテストでの記述・作文問題を出題してきた取り組みの成果が表れている。一方で、A「話すこと・聞くこと」においては大きく府平均・全国平均を下回る結果となった。

【今後に向けて】

日々の授業等で漢字テストを行ったり、本文に書いてあることを正確に読み取ったりするような取り組み等をこれからもすすめ、基本的な知識の定着をさせていく。また、話し合いの活動の数を今よりも増やすことで「話すこと」の観点の問題の対策を行っていきたい。

<数学>

【成果と課題】

平均正答率は大阪府平均に対して1ポイント、全国平均に対して2.3ポイント下回る結果となった。しかし、領域別でみると「数と式」については、大阪府平均を2.7ポイント上回った。授業の初めに毎回計算問題に取り組んだ成果が表れていると考える。また、記述式の問題形式である、連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明をする問題では、大阪府平均を16.9ポイント、全国平均を16.0ポイント上回った。ICT機器の使用に加えて、記述式の問題形式についても粘り強く取り組んだ成果が表れている。一方で、関数分野やデータの活用分野の平均正答率は大阪府平均・全国平均を下回る結果となった。

【今後に向けて】

プリント学習を継続して取り組み、基礎学力を定着させていく。また、日頃の授業において、「関数」「データの活用」の領域において苦手意識があるようなので、その領域の基礎・基本の問題から徹底して指導できるように、3学期には復習する時間を多く取り入れていきたい。

<理科>

【成果と課題】

平均IRTスコアは大阪府平均に対して34ポイント、全国平均に対して18ポイント上回る結果となった。問題別集計結果で見ると、ほぼ全域で大阪府や全国の平均スコアを上回ってはいるが、「水の中の生物を観察する場面」についてや、「仮説を立てて科学的に探究する学習場面において」の問題では大阪府や全国の平均を下回る結果となったことより、実際の生物を観察する場面が少ない都会の自然環境の影響や、知識だけでなく科学的な探求力が弱いと考えられる。

【今後に向けて】

水中の生物を含め、実物を観察できるような生物教材の準備を進め、知識だけでなく、グループで仮説を立てて考え、討議し、科学的思考力を高めていく授業展開を工夫していきたい。

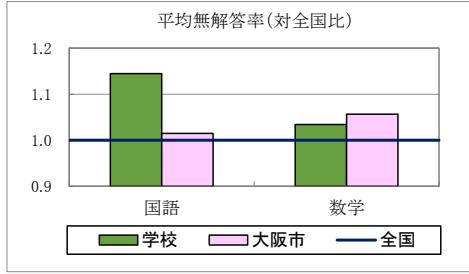
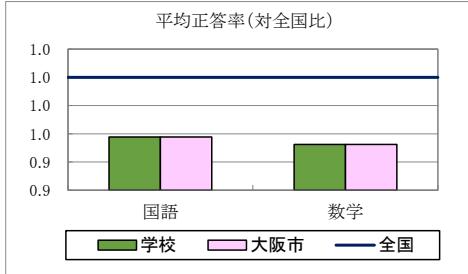
**令和7年度 松虫中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	52	46
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

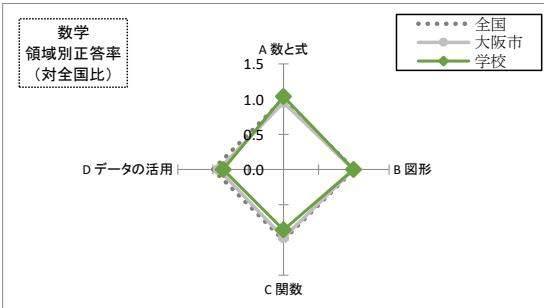
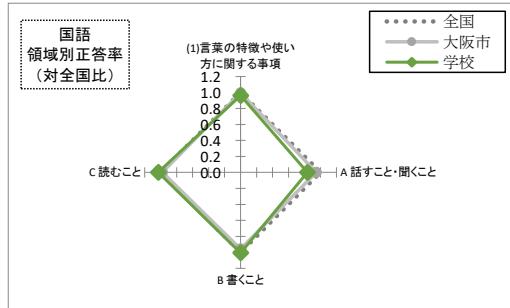
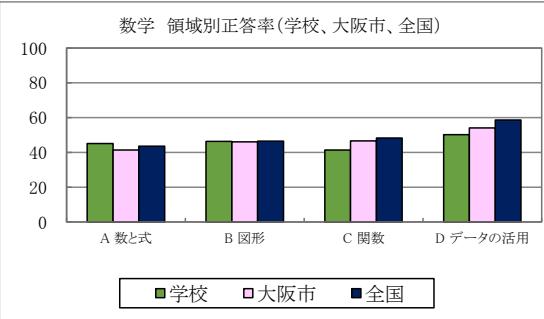
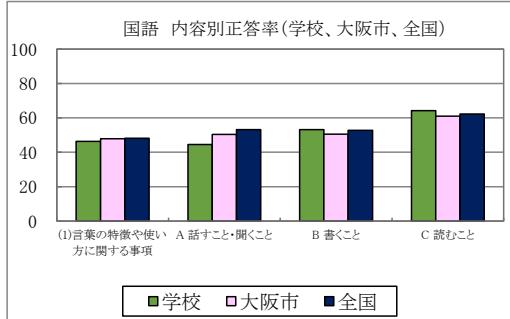
平均無解答率(%)	
国語	数学
7.7	11.0
6.8	11.2
6.7	10.6



【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	46.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	44.5	50.4	53.2
B 書くこと	5	53.2	50.6	52.8
C 読むこと	3	64.2	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	45.1	41.4	43.5
B 図形	4	46.3	46.1	46.5
C 関数	3	41.3	46.6	48.2
D データの活用	3	50.2	54.0	58.6

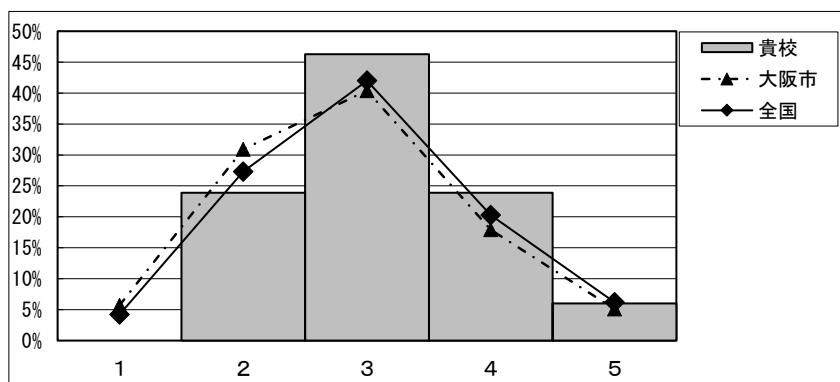
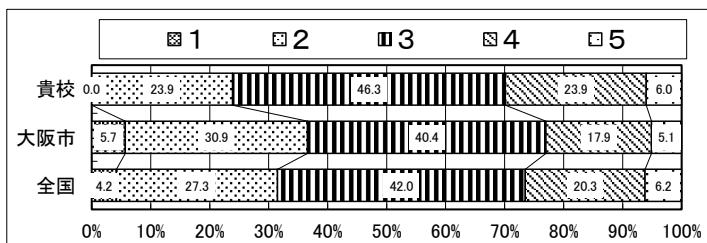


令和7年度 松虫中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	521
大阪市	489
全国	503



令和7年度 松虫中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

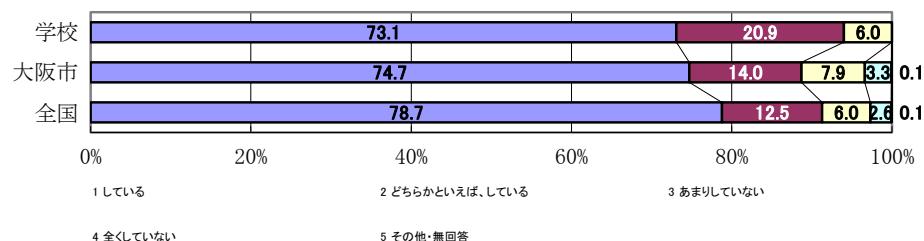
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

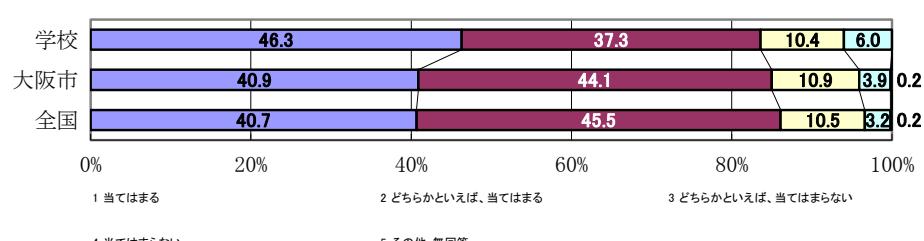
1

朝食を毎日食べていますか



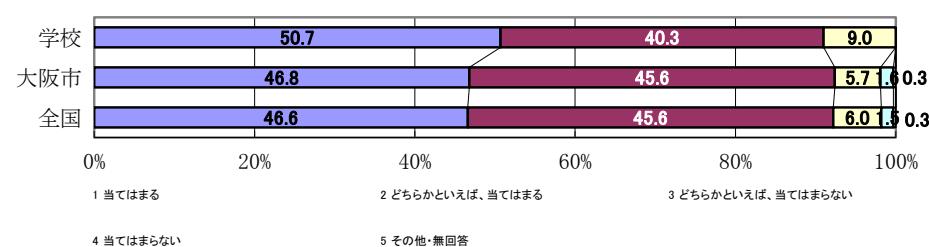
5

自分には、よいところがあると思いますか



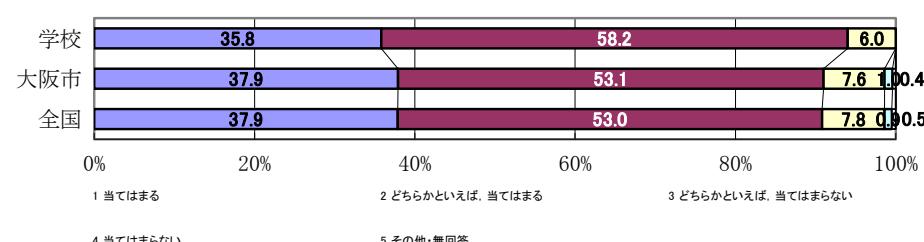
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



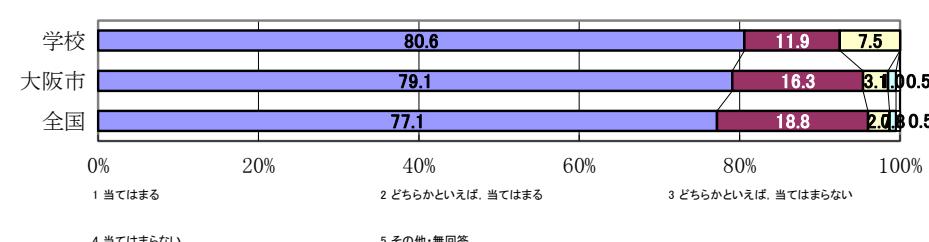
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



令和7年度 松虫中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

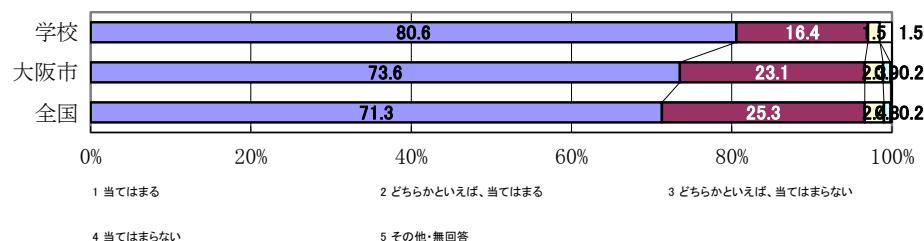
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

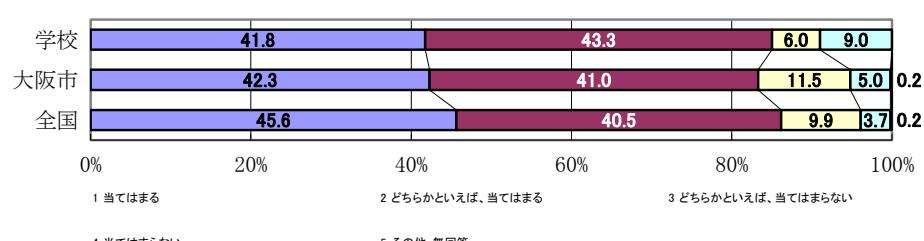
11

人の役に立つ人間になりたいと思
いますか



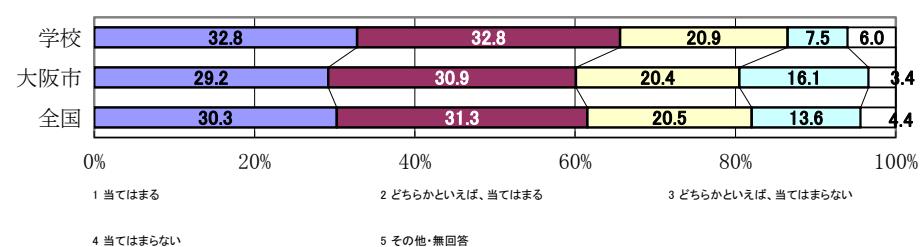
12

学校に行くのは楽しいと思いま
すか



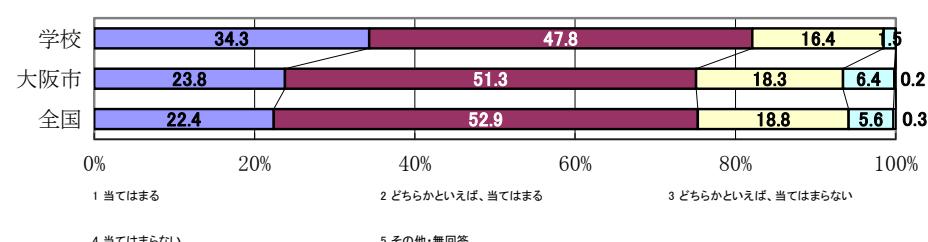
24

読書は好きですか



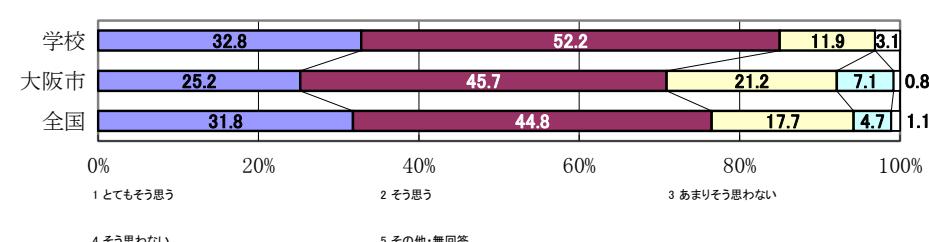
27

地域や社会をよくするために何か
してみたいと思いますか



74

あなたは自分がPC・タブレット
などのICT機器を使って学校
のプレゼンテーション(発表の
スライド)を作成することができ
ると思いますか



令和7年度 松虫中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

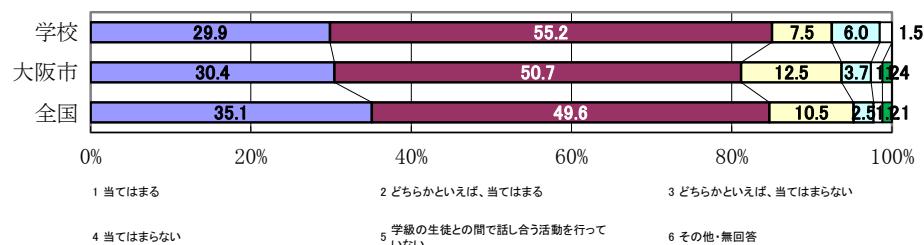
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

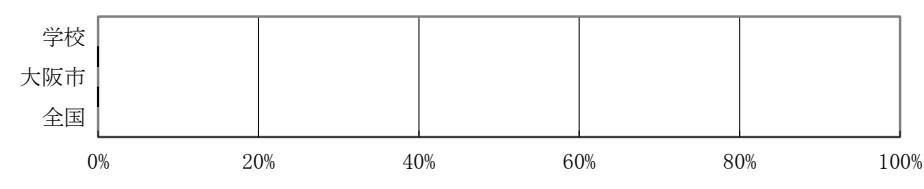
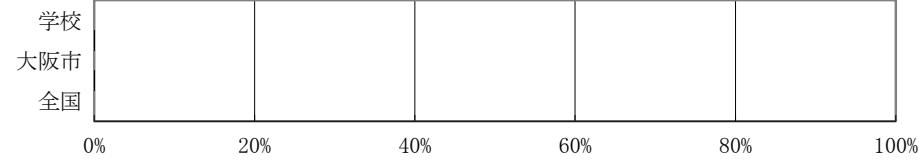
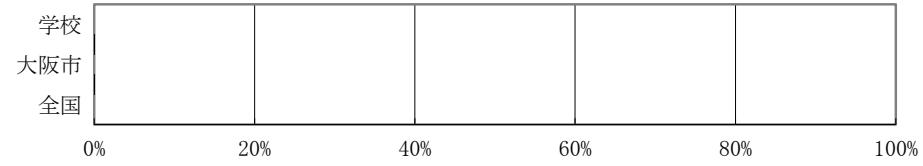
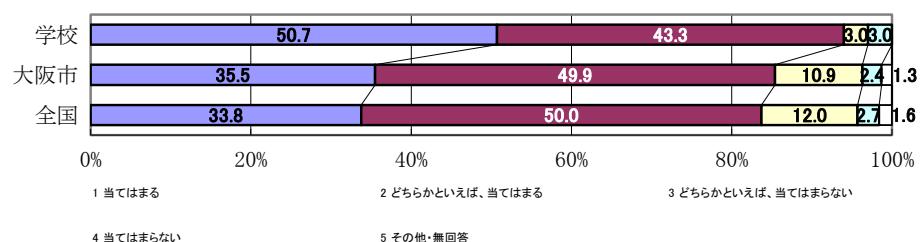
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



令和7年度 松虫中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

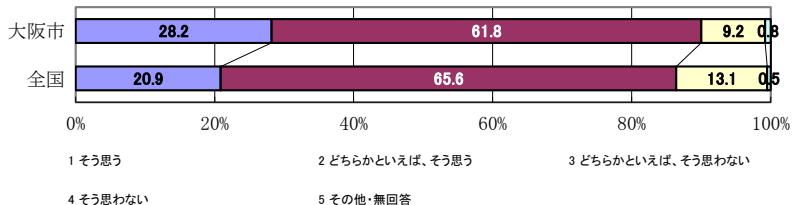
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

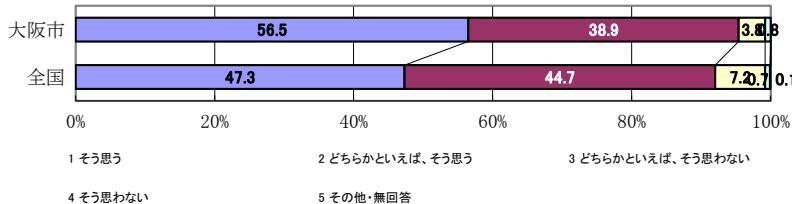
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

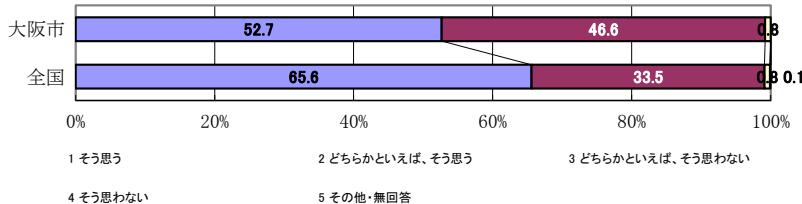
学校 「そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

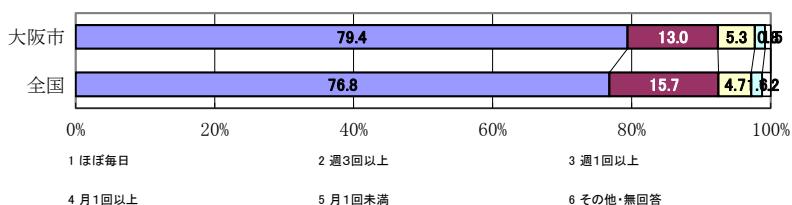
学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



61

教職員と調査対象学年の生徒がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「月1回以上」を選択

